

Edgewise Society in Kyushu(ESK)

2024 年第 2 回セミナーのご案内

ESK は 44 年の歴史ある、九州を中心とした矯正歯科専門開業医によるスタディ・グループです。年間 3 回開催致しますセミナーは、さまざまな歯科関連分野でご活躍中の講師によるご講演をじっくり拝聴できる貴重な機会となっております。一般開業医や矯正専門開業医、そして大学関係者にも広く門戸を開いていますので、会員外の先生方にもオブザーバーとしてご参加頂けます。

2024 年第 2 回目のセミナーは、午前に会員 2 名による難症例の治験例の講演、午後には矯正歯科の幅広い分野に造詣の深い京都府宇治市ご開業の居波徹先生をお招きし、ご講演いただきます。皆様お誘いあわせの上奮ってご参加下さい。

日時：2024 年 7 月 25 日（木） 10:00 – 17:00

午前の部 << 会員講演 当会 2023 年度アンコール症例 >>

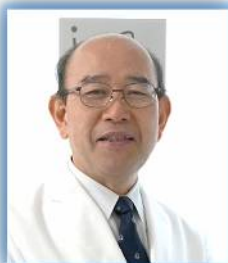
10:00~10:40 立花京子先生（神戸市開業）「スプリント療法により外科手術を回避できた顎偏位症例」

10:40~11:40 分山英次先生（熊本市開業）「初回治療の 21 年後に開咬の治療を希望した患者に、智歯抜歯後、口蓋正中部のアンカースクリューと PLAS を用いて上顎大白歯の遠心圧下移動を行った症例」

11:45~13:00 会員ランチ・ミーティング

午後の部 << 特別講演 居波 徹 先生（京都府宇治市開業） >>

13:00~16:30 「いなみ矯正歯科・診療のあゆみ」



1975 年 4 月に愛知学院大学歯学部歯科矯正学教室に入局以来、皆様同様に様々な経験をさせて頂きました。大学では当時のエッジワイズ法の『スエヒロ』テクニックを習いました。1981 年に宇治市でいなみ矯正小児歯科クリニックとして開院しました。開業当初からずっと USC(南カリフォルニア大学)の Dougherty 先生と Root 先生の影響を受けました。途中で矯正歯科単科開業になりましたが、常に苦悶していました。反対咬合の早期治療を行い、治療途中で思春期成長が生じて外科矯正となる失敗をしてしまい、大きな挫折を味わいました。また、Tucson に行き『TWEED』法の

勉強もしました。1990 年頃から、リンガル矯正治療に興味があり、Kurz 先生や Gorman 先生の研修を受け、その後も日本舌側矯正歯科学会に参加して技術を習得しました。2008 年からは、Wiechmann 先生の開発した INCOGNITO を主に診療の柱としてきました。48 年間の矯正歯科診療を振り返り、基本になる知識と新しい矯正歯科治療法の修得は勿論の事、ナラティブな矯正歯科の診療が行えるようになるべきと考えています。その為には、永続している講習会やセミナー、勉強会に参加して、自ら発表することが大切と考えています。その意味でも、この ESK を長期間継続された歴史に対して敬意を表します。

「講演内容」

1. 反対咬合の早期治療と鑑別診断
2. エッジワイズ法レベルアンカレッジシステム
3. リンガルブラケット矯正法

場所：福岡県歯科医師会館（福岡市中央区大名 1-12-43） 5 階会議室

参加費：ESK 会員 ¥ 0

会員外の歯科医師・コデンタル ¥ 5,000（半日の参加も可能です。）

主催：Edgewise Society in Kyushu（通称 ESK / 会長 清水義之）<http://www.esk21.com>

お問合せ：かねだ矯正歯科 立花京子 Fax 078-736-0736 k.tachibana2018@gmail.com



お申込み・お問い合わせは、メール k.tachibana2018@gmail.com 又は Fax 078-736-0736 へお願い致します。

フリガナ	フリガナ	
お名前	ご所属医療機関	
フリガナ		コメント等：
〒 ご住所		
Tel	Fax	E-mail

会員外のご参加者は、当日会場にて¥5,000 お支払いお願い致します。